

## コンクリート製品製造業

事例28

# 社内の教育指導と社外講習への積極的参加で優秀な職長等を育てる

業況に左右されず、社員への社内外教育を積極的に実施するとともに、職場内活動の積重ねによって、安全衛生の知識・意識の高揚を図る。65歳定年制のもと、優秀なベテラン職長が活躍する。

東日本コンクリート株式会社 亘理PC工場・宮城県

## 管理体制——製造部門と建設部門を統括する全社組織

東日本コンクリート株式会社は、PC（プレストレスト・コンクリート）製品の製造・販売と、PC構造物の設計・施工を行う。東北地方でのPC製造の草分けであり、社内に工場と工事部門の両方を持つ貴重な会社である。「地域社会に貢献し社業の発展と社員の幸福をはかる」という社是のもと、「健康第一に災害のない明るい職場をつくる」を社訓の1つに掲げている。

亘理PC工場（宮城県亘理郡、社員20人）は、桁、梁、床板、枕木といったPC製品を製造。大型で重量のある製品を取扱い、クレーンや玉掛け、ガス溶接や溶断などの危険作業が多いものの、無災害3,000日を達成し、4,500日をめざしている。

統括安全衛生管理者である代表取締役をトップとした全社の安全衛生管理組織があり、毎月第1月曜日に、製造部門・建設部門・管理部門・営業部門の責任者が参加する全社安全衛生委員会を開催している。その下に、「亘理PC工場安全衛生委員会」を設置して、全社とは別に毎月、会議を行っている。

全社の計画に基づき、工場独自の「安全衛生活動計画」を策定しており、2012年度は、労働災害・交通災害の絶無、環境の整備、健康管理体制の充実—の3つを基本方針に、整理整頓や定期点検の励行などを重点実施項目に取り組んだ（図表1）。

毎月初めに「工場安全の日」を開催



班長以上が参加する工場安全衛生委員会



本社役員による社内安全パトロールは隔月で実施



環境整備の取組みとして宮城県のスマイルサポーターとなり、町内の清掃活動に参加



## 教育・講習——基準協会等の社外研修を積極的に活用

建設投資の変動が、業況に大きく影響するものの、全社員への教育訓練を積極的かつ計画的に行う。長年、無災害が続くなかでも、手を緩めることはない。これは、「教育は従業員のスキルアップのための投資」との意向が、幹部間で統一されているためである。また、数多くの公共工事を手がける会社として、「事故を起こしたときのことを考えれば、教育訓練等にかかる費用は決して高くない」という意識が根強い。国家資格の場合、3回までは会社が費用を負担する。

図表2が、社内教育・社外教育の内容と指導者・対象者の一覧である。PC製品の製造技術・品質向上、安全衛生・資格取得に関するものが主だが、これ以外にも、地元労働基準協会や中央労働災害防止協会が開催する「職長教育」「職長・安全衛生責任者教育」「職長等・職場リーダー向けリスクアセスメント教育」「危険予知活動リーダー研修会」などにも参加する。社外研修の大半は、工場から30分ほどの距離にある仙台市内で受講できる。

年度初めに実施計画立案と、前年度の反省会を行う。対象者を全社員、担当業務全員としているのがめだつ。例えば、社外の「責任者」「リーダー」研修では、必ずしも責任者

やリーダーだけでなく、一般係員にも受講させている。有用な安全衛生講習は中期計画で段階的に、全社員に受講させる方針である。

受講者は、「上司や先輩の指導で聞いていたことでも、座学で体系的に学ぶことができ、社外の人とグループ研修などをすると刺激になる」など、社外研修を有意義に感じている。

## KY活動——朝礼でリスクアセスメントを実践

社内教育を兼ねる安全衛生管理活動として、2ヵ月ごとの本社による「安全パトロール」、毎月初めの「工場安全大会」、毎日の「朝礼」などがある。安全パトロールは、30キロほど離れた本社から取締役が来場し、工場内をすべて巡回する。工場安全大会では、工場長がその月の重点目標を説く。朝礼時には、リスクアセスメントを取り入れた危険予知活動と、ヒヤリハット体験発表を行っている。

リスクアセスメントは、建設部門で実施していたことを取り入れたもの。製造と建設部門間で技術的な情報交換が行われていて、お互いに良いものは取り入れる文化がある。図表3のとおり、第2ラウンドでリスクを見積り、第3ラウンドでは対策を立てると同時に、対策後のリスクの見積りを行う。第4ラウンドで本日の行動目標を決めるまで、約15分で終わるといふ。

ヒヤリハット体験は、毎朝1人が、全員の前で発表する。1人ひとり、月に1回くらいのペースで回ってくる。無災害が続く職場で、ヒヤリハットはほとんど体験しないようだが、まれにあるヒヤリ体験を忘れないように書き留めておき、それを全員の前で発表することがよい教育機会になっている。

## 職長制度——60歳代のベテランが現役で活躍

作業の計画、指導督励が職長の役割である。朝のミーティング時に、当日の作業での過去のヒヤリハット事例を周知して注意を促したり、現場巡回時に若手に声をかけたりして指導していく。

職長は、社内の資格等級が、「主任職員」「特号職員」から選任する(図表4)。資格等級は、経験年数と実績により昇格する。基本給は資格等級に連動していて、職長にはこのほか、手当が支給される。

同社は、半世紀以上前からすでに65歳定年制を実施している。職長の役職定年的なものではなく、現在60歳代の2人の職長が活躍している。以前は、定年到達後も、実績と指導能力を買われ、職長として67歳まで勤務し続けた者がいるなど、優秀なベテラン職長が活躍している。

図表1 巨理PC工場の重点実施項目(2012年度 安全衛生活動計画より)

(1) 安全関係	ア. 整理整頓の励行 ウ. 現場チェックと問いかけ指導の実施	イ. グループミーティングの充実
(2) 設備関係	ア. 計画表に基づく定期点検の励行 ウ. 諸道具の置き場の明確化と充実	イ. 機械器具整備の計画表作成
(3) 衛生関係	ア. 健康診断の実施 イ. 健康診断に基づく自己管理の推進 ウ. 産業医の指導	
(4) 教育・訓練関係	ア. 新規入場者への安全教育の徹底 ウ. ヒヤリハットの発表	イ. 研修・講習への積極的参加
(5) その他	ア. 工場安全大会の開催 ウ. レクリエーション	イ. 構内美化運動の実施 エ. 町内清掃作業への参加

図表2-1 社内教育

教育内容	指導担当者	対象者	摘要
社内規格の周知徹底	技術課	全社員	①1回/6ヶ月、又は改正時に行う ②必要に応じて随時部署別に行う
設備及び製造作業等の教育	技術課	製造係	①1回/6ヶ月に行う ②設備変更、改造時に行う
コンクリートに関する一般知識及び試験に関する教育	技術課	試験係	①1回/年以上教育訓練を実施する。
コンクリート、PCの品質管理に関する教育	工場長 技術課長	全社員	①実施予定表を作成し勉強会を開催
防災、消防訓練、教急知識の講習	工場長 技術課長	全社員	①実施予定表を作成し年1回以上行う
KYT活動 (リスクアセスメント活用)	工場長 技術課長	全社員	①従業員から出された危険予知に関する情報をまとめ、リスクの見積もりを考え事故防止の徹底を図る
新規入場者の教育	工場長 技術課長	新規入場者	①社内規格を主体とした教育を行う。
ヒヤリ・ハット体験談発表	工場長 技術課長	全社員 協力会社	①毎日朝礼時、順番に発表する。(強制的に全員発表)
経営者による安全パトロール	本社取締役	全社員	①2ヶ月に1回
グループ会社内の意見交換 工場ワーキング	グループ会社統括者	全社員	①3ヶ月に1回
グループ会社内の研修会	グループ会社統括者	若手社員 35才迄	①1年に1回(広島2泊3日)

図表2-2 社内教育

教育内容	指導担当者	対象者	摘要
安全衛生に関する講習	労働基準協会 PLストリート建設部	製造係	製造係員、安全・衛生推進員、班長、 職長に職場の安全・衛生意識の高揚を 図る目的で参加させる。
コンクリート及び 品質管理に関する講習	日本規格協会 日本コンクリート工学会	技術課副 検査課	日本規格協会、日本コンクリート工学会 の講習会に参加させて資格を取得させ ると共に品質管理の推進を図る。
製造に関する技能講習	労働基準協会 ボイラ・クレーン講習者	製造係	玉掛け、ガス溶接、クレーン等の技能 講習に参加させ、資格を取得させる。
その他		全従業員	講習会に参加させ必要な資格取得の 機会を与える。

図表3 リスクアセスメントKY、ヒヤリハット体験発表の記録簿

巨理PC工場 作業所 年 月 日

### 危険予知活動表

本日の作業内容		型枠組立作業				重大性	
(第1ラウンド) 予測される危険性・有害性		リスクの見積り		リスクの見積り		重大性	
〇〇する時	〇〇して (〇〇なので) ~になる	重大性	可能性	発生頻度	被害	重大性	被害
①		×	△	Ⅲ	軽度	不休・かすり傷程度	○
②		△	△	Ⅱ	軽度	不休・かすり傷程度	○
③					軽度	不休・かすり傷程度	○
(第3ラウンド) 予測される危険性・有害性に対する対策		対策後のリスクの見積り		対策後のリスクの見積り		優先度	
だから私たちはこうする		重大性	可能性	発生頻度	被害	優先度	被害
①		△	○	I	軽度	不休・かすり傷程度	○
②		○	○	I	軽度	不休・かすり傷程度	○
③		△	○	I	軽度	不休・かすり傷程度	○
昨日の作業での先取りハット体験		先取りハット防止対策					
(第4ラウンド) 本日の行動目標		ヨシ!				優先度がⅡ以下になるようにする。	
会社名:	参加者	サイン	健康	サイン	健康	サイン	健康
リーダー:							
						合計	
						名	

東日本コンクリート株式会社

図表4 職長の資格等級の関係

職名	資格等級	資格要件
職長	主任職員	作業の指導能力のある者
	特号職員	作業の指導能力のある者
班長	職員1号	労務的作業に熟練している者 車両運転、機械操作に適している者